

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	ユニアデックス株式会社
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	・アクセス回線として光アクセスに限らず無線やCATVなど考え得る多様な手段を講じデジタルディバイド解消に努めるべきと考える ・既存メタル回線及びアナログ電話網について光化完了後の計画を明確にすべきである
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	・自治体クラウドをさらに推進し、最終形の議論と併行して現状で可能なサービスをよりスムーズに現場へ落としていく対策を講じるべきと考える ・利用率向上の為には、利用者にとって魅力的で廉価なアプリケーションサービスが提供されなければならない。そのためには、プラットフォーム機能を開放し複数のプラットフォーム事業者が公正に競争できる環境を整えるべきである。